



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

臨床研修部：森山 真帆

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 森山 真帆

【指導医】

聖路加国際病院 循環器内科 浅野 拓
公衆衛生学研究科 木村 キミ

冠動脈 CT を施行された方を対象とした冠動脈疾患の リスクスコア作成に関する研究

1.研究の対象

2014年1月から2020年12月に心臓の冠動脈CT検査を受けた患者さん。

2.研究の目的・方法

冠動脈造影CTは、わが国では虚血性心疾患の診断において最も用いられている画像診断の一つです。CT装置の進歩により、放射線被曝の低減と画質の向上が得られており、最新の臨床ガイドラインや診断の適切性指針においてCTによる診断が推奨されています。冠動脈CT検査の感度(真の陽性率)は非常に高い一方で、特異度(真の陰性率)は感度と比較すると低いのが現状です。これは、検査をして陽性となれば、冠動脈狭窄がある可能性が非常に高いですが、陰性の場合本当に陰性であるのかをカテーテル検査等で更に調べる必要があるということを意味します。冠動脈CTはカテーテルによる冠動脈造影検査と比較して低侵襲ではあるものの、被曝や造影剤の使用による副作用のリスクを伴います。従って、本研究では、冠動脈CTの検査結果を冠動脈疾患のリスク因子(高血圧・糖尿病・喫煙・家族歴・高コレステロール血症)や既往歴・家族歴等と併せて評価することにより、冠動脈CTによる正確な診断の確率の向上を図ります。

この調査では、通常の保険診療以外の医療行為を行うことはなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての後方視的な調査のみとなります。

調査期間は、研究倫理審査委員会承認後～2022年3月までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- ・ ID、イニシャル、年齢、性別、生年月日
- ・ 胸痛・呼吸困難等の症状の有無、身長、体重、BMI、合併症、既往歴、治療歴、家族歴
- ・ 血液生化学検査 (HDL、LDL、Cholesterol、HbA1c、Glu)
- ・ 血圧、冠動脈CT検査結果、冠動脈造影検査 等